



あんしんなブロック塀をめぐって

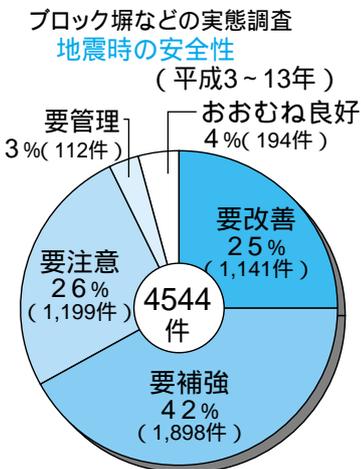
八月三十日から九月五日は、建築物防災週間です。この機会に、私たちの身の回りの建物の安全を見直しましょう。中でも、道路に面したブロック塀は、地震が起きれば危険物に変わる恐れがあります。そのため市では、平成三年から十三年にかけて、全小学校区のスクールゾーン内のブロック塀と石塀の安全性について調査しました。

ブロック塀などが瞬時に「危険物」に

ブロック塀や石塀は、見掛けはしっかりしていても、施工が正しく行われていないと耐震性に欠け、地震時に大変危険です。一九七八年の宮城県沖地震では、ブロック塀や石塀の倒壊で十七人が亡くなりました。また、一九九五年の兵庫県南部地震でも、多くのブロック塀が倒壊しました。ブロック塀の倒壊は危険だけでなく、避難や救助活動の障害にもなります。特に、通学路や避難路などでのブロック塀・石塀の安全確保は重要です。

今、地震が起きたら大変!!

7割は「改善」「補強」が必要



市では、平成三年から十三年にかけて、市内三十九小学校区のスクールゾーン内にあるブロック塀・石塀、四千五百

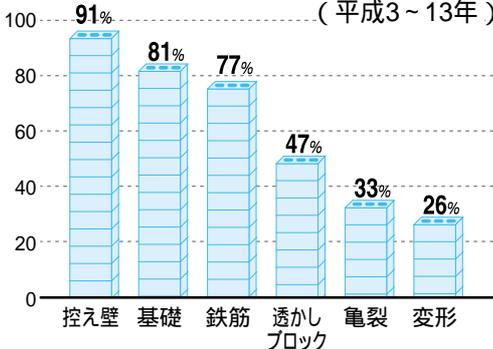
四十四件について地震時の安全性を調査しました。その結果、「おおむね良好」は全体のわずか四%の百九十四件でした。一方、すぐに改善が必要とされる「要改善」は二五%、補強が必要な「要補強」にいたっては四二%に上り、合わせて六七%もの塀が「改善」あるいは「補強」が必要でした。

こんなところが問題です!!

また、調査によると、改善や補強が必要な箇所は、「控え壁」、「基礎」、「鉄筋」の三つに集中しています。

「控え壁」では、控え壁がない、「鉄筋でブロック塀とつながっていない」など、建築基準法に適合していないものが九一%もあり、基礎では「基礎がない」、「地盤への埋め込みが浅い」などで八一%、鉄筋では「入っていない」、「鉄筋の間隔が広い」など、七七%が不適合でした。

ブロック塀などの実態調査
改善や補強が必要な箇所の割合
(平成3~13年)



控え壁がない!!

6段積み以上のブロック塀にもかかわらず、控え壁がなかったために倒壊



こんなブロック塀は
早急に改善を!!



基礎がない!!

基礎を作れない石積みの上にブロック塀を積んだために倒壊

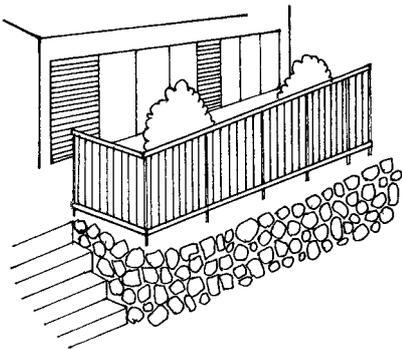
鉄筋が正しく
入っていない!!

縦の鉄筋が正しい間隔で入っていないために倒壊

倒壊を未然に防ごう!

改善の方法

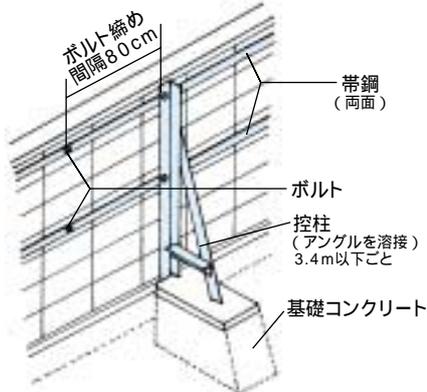
事例1 ブロック塀を生け垣やフェンスなどの柵に変える



石積みなどの上に設けられたブロック塀は、フェンスや生け垣などに改修しましょう。

事例2 鉄骨などでブロック塀が倒壊しないように補強する

控柱式《高い塀の場合》



診断してみよう、あなたの家のブロック塀

安全なブロック塀

あなたの家の塀は大丈夫ですか？以下のポイントをチェックして、必要ならすぐに改善・補強しましょう。

壁頂には必ず横筋を入れ、縦筋をフック掛けします。

多くありませんか？

フ透かし 多いと塀の強度が低下。連続した配置は禁物。

入っていますか？

鉄筋 直径10mm以上の鉄筋を縦・横方向に80cm以下の間隔で入れます。特に縦筋は基礎から壁頂まで1本のものとしします。

密に充てんされていますか？

充てん 鉄筋とブロックを一体化するとともに鉄筋を保護。

ありますか？

控え壁 高さ1.2mを超える(6段積み以上)塀は長さ3.4m以下の間隔で控え壁を設置。また、控え壁にも鉄筋を入れ、塀とつながります。

地中に深く埋め込まれていますか？

基礎 鉄筋コンクリートで造り、30cm以上地盤に埋め込みます。

埋め込み深さ

生け垣の助成

ブロック塀や石塀を生け垣に変える場合には・・・

ブロック塀や石塀を生け垣に変えると、助成金が受けられます。道路に面した高さ1メートル以上のブロック塀や石塀に替えて、高さ1メートル以上、延長2メートル以上の生け垣にする場合には、生け垣の樹木1本当たり千円が助成されます。助成額の上限は5万円です。